



みどりの風

第1号

☆ 合い言葉 ☆

「笑顔いっぱい 思いやりいっぱい 花いっぱい」

自ら学び、考え、行動できる大人に育てる

草牟田小学校第33代校長を拝命しました大重満明です。このたび鹿児島県総合教育センター教職研修課から参りました。新鮮な気持ちで毎日を過ごしております。保護者・地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

草牟田小学校では新入生83人を迎え、478人の児童と38人の教職員で令和4年度がスタートしました。ほかに外国語活動をアシストしてくださるAEAの先生方、クラブ活動の指導をしてくださる先生方など、多くの皆様の御協力を得ることができ、大変ありがたく思っているところです。

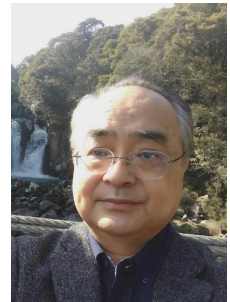
また、本年度は小中連携の取組の一環で、伊敷中学校の外国語科の先生が6年生の英語の授業に入ってくださいっており、こちらもまたありがたく、頼もしく思います。

草牟田小学校の学校経営目標は、「自ら学び、考え、行動できる心豊かでたくましい草牟田っ子の育成」と承りました。学校をお預かりする身としましては、この実現を目指し、教職員一丸となって取り組みます。始業式では、この目標を受け、児童に対して、本校の目指す子供像「よく考える子」、「助け合う子」、「元気な子」、「心の美しい子」、「ねばり強い子」となって欲しい旨の講話を行いました。

さて、私が小学生であった昭和の時代、21世紀は明るく輝く未来であるかのように語られていました。もちろん、科学や技術、社会制度等の発達によって平成・令和と時代が変わるにつれ、世の中が良い方向に発展しているのは確かでしょう。

一方で、日本の人口が急激に減少する時代に突入し、超高齢社会になっている今、生産年齢人口及びその割合が減少しています。このことは私たちの生活に大きな影響を与えるようになりました。社会は持続可能であるのかどうか、どうやったら持続可能なのかということなど、よく考えなければならない課題が山積してます。今の児童が生きていく時代は予測不能であり、親や教師から教わったことをそのまま実行しても解決できない、つまり何が正解なのか分からないことに果敢に挑戦しなければならない時代になってきているのです。親として、そして私たちは教職員として先々を展望し、子供の発達に段階に応じてどんな力をつけてあげるべきか、どのように行動させるのが良いのかなどを思案し、自立的に育てる必要があります。

「自ら学び、考え、行動できる大人に育てる」こと。本校学校教育目標と目指す子供像は学校と家庭・地域が一体となって行う教育の目標となると信じます。



校長 大重満明